

あなたの「^{けんこうりょく}健口力」を調べてみませんか

愛知県歯科医師会・愛知県東浦町オーラルフレイル調査研究事業

平成元年に愛知県歯科医師会が全国に先駆けて実施をした「80歳で20本以上の歯を保とう」という^{ハチマルニイマル}8020運動も今年で30年を迎えます。平成28年度厚生労働省歯科疾患実態調査内に8020達成者は51.2%との結果が示されました。

愛知県歯科医師会でも平成28年から8020運動を一步進めた「ウェルネス8020」を提唱しています。つまり、より多くの歯を保つと言う目的だけにとらわれるのではなく、生涯に亘ってライフステージ毎の特性を踏まえた切れ目のない健診事業をはじめ、歯と口の健康維持から全身の健康づくりに取り組むべきと考えています。

愛知県歯科医師会が厚生労働省老健局「平成30年度老人保健健康増進等事業」の公募事業に応募し、6月7日に正式に採択されました。

愛知県歯科医師会が事業主体者となり、愛知県東浦町、半田歯科医師会、が連携して8月からフレイルⁱ、オーラルフレイルⁱⁱ、認知症との関係の調査研究を実施し、その後愛知学院大学歯学部が分析を担当します。

それに伴い6月26日（火）14時より、愛知県歯科医師会館「歯～とぴあホール」にて、愛知県歯科医師会が平成30年度厚生労働省老健局老人保健健康

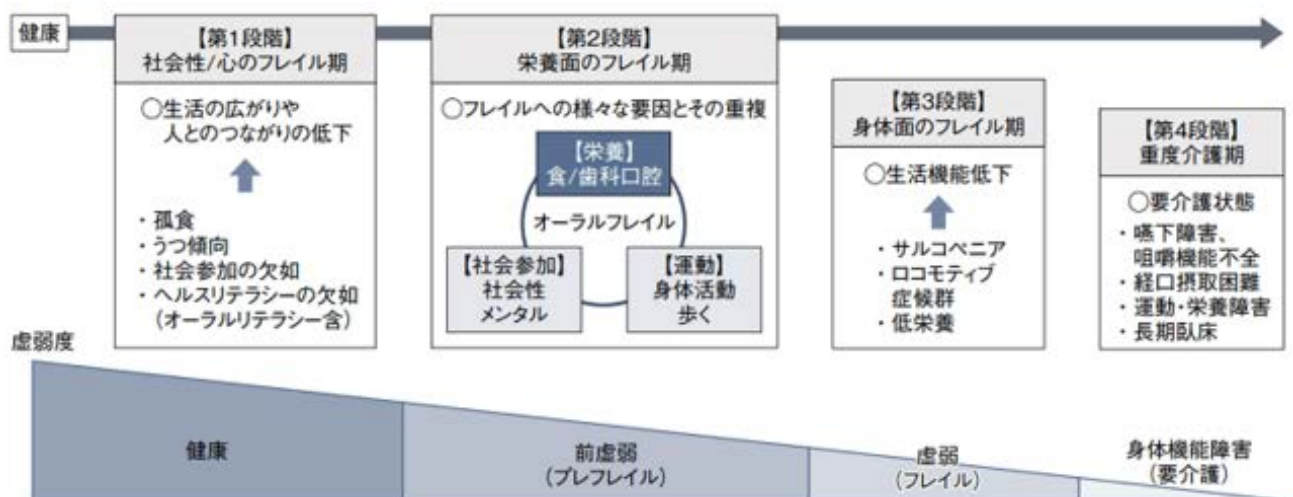
増進等事業を受託し、愛知県東浦町・半田歯科医師会と協定を結び「歯科検診と事後フォローによる高齢者の自立支援と重症化予防への検証及び口腔機能の維持と栄養・運動を含めた総合プログラム事業」についての記者会見を行いました。



愛知県歯科医師会では、愛知県東浦町のご協力を得て65歳以上の町民に対して口腔機能検査を展開し、口腔機能の状態を把握し、分析を実施します。その結果から、口腔機能の改善を進めていくことにより、全身の健康及び介護予防、更には地域包括ケアシステムの推進へ寄与していくことを目的としています。

i 『フレイル』とは

加齢が進むに従って徐々に心身の機能が低下し、日常生活活動や自立度の低下を経て、要介護の状態に陥っていきます。この心身機能の顕著な低下を虚弱（frailty）と一般的に呼んでおり、要介護への最たる要因となります。また、さらに複数の要素が絡み合い、負の連鎖（Frailty cycle）を起こすともいわれ、その虚弱のことを『フレイル』と呼ぶことが日本老年医学会から 2014 年に提唱されました。



ii 『オーラルフレイル』とは

滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、かめない食品が増えるなどのささいな口腔機能の低下から始まります。このことを早めに気づき対応することが大切であり、これらの様々な口の衰えは身体の衰え（フレイル）と大きく関わっていると考えられてきています。